



でんき とお 電気を通すプラスチックを つくろう

ひろしまだいがくこうがくけんきゅうか ざいりょうぶっせいかがく けんきゅうしつ
広島大学工学研究科 材料物性化学 研究室

しらかわひできはかせ でんき とお どうでんせい はっけん
白川英樹博士は、電気を通す（導電性）プラスチックを発見した
ことで、2000^{ねん}年にノーベル化学賞^{かがくしょう じゅしょう}を受賞^{でんき とお}しました。電気を通す
プラスチックを使うと、紙^{かみ}のように薄い^{うす}ディスプレイや軽い^{かる}電線^{でんせん}、
電池^{でんち}などなど、曲^まげても元^{もと}に戻る^{もと}性質^{せいしつ}や軽^{かる}さを利用^{りよう}した新^{あたら}しい電気^{でんき}
製品^{せいひん}を開発^{かいぱつ}することができます。現在^{げんざい}、電気を通すプラスチックは
パソコンの中^{なか}の小さい^{ちい}電池^{でんち}や携^{けい}帯^{たい}電話^{でんわ}などに使^{つか}われています。

でんき とお
○電気を通すプラスチック（ポリ
ピロール）をつくってみよう。
でんき なか
電気はちゃんと流^{なが}れるかな。ラン
プがつけば、大^{だい}成^{せい}功^{こう}。低^{てい}学^{がく}年^{ねん}のひ
とは、大^{おとな}人に手^て伝^{つた}ってもらって
ね。

でんき とお いろ か
○電気を通すと色も変^かわるよ。

どんな色^{いろ}に变^かわるか、じっく^{じっく}り観^{かん}察^{さつ}してね。

